

- 日米安保条約の廃棄、
米軍基地撤去
- 自衛隊の海外派兵反対
- 独立・平和・非同盟の日本を

安保廃棄

第530号 2025年7月

安保破棄中央実行委員会
〒101-0061
東京都千代田区神田三崎町 2-11-13 MMビル 5F
TEL 03-3264-4764 FAX 03-3264-4765
Eメール anpoha.k@nifty.com
http://anpoha.kinews.coocan.jp/index.htm
毎月1日発行/定価100円 年間購読料1800円(送料含む)
郵便振替 00120-3-253220

沖縄戦

少年兵だった兄は軍医に射殺された

西田議員の
発言について
高江洲義一さんインタビュー

自民党・西田昌司参議院議員による沖縄戦の歴史を歪曲する発言にか
かわって、沖縄戦当時の少年兵による遊撃部隊「護郷隊」に兄を召集さ
れ、日本軍に銃殺された高江洲義一さんに聞きました。

自民党の西田昌司参

院議員は、5月3日の
講演での「ひめゆり発

言」自体は謝罪する一
方で、自分の発言は正

しいと言っています。
この問題の核心は、発

言が改憲を求める文脈
の中でなされたものだ
ということですが。

保年65 アメリカは戦争やめよ

米効 日発
安保中央が宣伝で訴え

安保破棄中央実行委
員会は6月23日、東
京・新宿駅前で行な

署名行動をおこない
ました。この日は、80回
目の沖縄慰霊の日であ

り、1960年の日米
安保条約発効の日から
65年目にあたる日でし

た。

東森英男事務局長
は、21日におこなわれ
たアメリカによるイラ
ンの核施設への攻撃は
国際法違反であり、直
ちに中止するよう求め



安保破棄中央実行委員会の宣伝行動（6月23日）

核心は「靖国派」 による改憲策動

西田氏は月刊誌『正
論』7月号の中で次の
ように述べています。

「沖縄こそ戦後体制の
矛盾と歴史観のねじれ
を最も色濃く体現して
いる地域です。いわゆ
る『東京裁判史観』が
もつとも深く沈殿し、
かつ、米国による戦後
支配の名残が日常の中
に、侵略戦争・軍国主義を

正当化する勢力、「靖
国派」の主張です。
沖縄県民は、米国の
全面占領下で日本国憲
法の適用と普及の運動
をし、平和と民主主義
を、基本的人権を守る活動
を続けてきました。西
田氏が主張する「日本
の主権回復」と言っ
たらば、一番の近道は日
米安保条約を廃棄し、
日米平和友好条約を結
ぶことです。

安保中央が宣伝で訴え

ました。また、アメリ
DP比3・5%の軍事
力が日本に対して、G
費支出を求めているこ

とを批判。米国に追隨
する石破政権を批判し
ました。

全日本民医連の木下
興事務局長、婦人民
主クラブの大木義子さ
ん、全商連の池田法仁
常任理事、食品一般ユ
ニオンの北川順子さ
ん、日本平和委員会の
岩月康範事務局長が
訴えました。

各弁士は、アメリカ
のイランへの軍事攻撃
に抗議し、中止を求め
るとともに、石破政権
が進める、「戦争する
国づくり」と大軍拡政
策の中止を訴えまし
た。

護郷隊の碑
で兄の銘盤
を指す高江
洲さん

の経験か
ら、「軍隊
は住民を守
らない」と
いう教訓が
明らかにな
りました。

帝国軍隊
は将兵の命
さえ守らず、「自決」
を強制しました。

当時16歳だった私の
兄・義英は、少年兵に
よる遊撃部隊「護郷隊」
に召集されました。撤
退する中で、歩けなく
なった兄は軍医によつ
て銃殺されました。兵
士の中には航空機や人
間魚雷、小型艇などで
敵に突撃する特攻作戦
や住民を巻き込んだ地
上戦で命を落とした人
たちもいました。餓死、
病死した者もありまし
た。人間として尊厳が
守れない事態が繰り返
されたのが沖縄戦であ
り、戦争でした。

私は兄たちの死につ
いて、銃殺した軍医の
せいにするのは誤りだ
と思っています。背景
には、軍人勅諭や教育
勅諭に基づく軍国主義
思想や「戦陣訓」があ
りました。そこには、「生
きて虜囚の辱めを受け
ず」とあります。

また、沖縄
の経験か
ら、「軍隊
は住民を守
らない」と
いう教訓が
明らかにな
りました。

踏みじられた 沖縄の平和の心

私は沖縄戦の実相と
教訓を自覚し、軍事対
軍事ではなく日本国憲
法の原則で外交を行
い、平和と社会進歩、

繁栄の道をともに歩む
ことを希望します。

兄たちの無念の死を
晴らす証しは、二度と
若者が殺し殺される社
会にしない、沖縄を再
び戦場にしないことで
す。ましてや、あの戦
争を正義の戦争だとす
る歴史観を取り戻し、
改憲を実現するという
西田氏の言動は、県民
の平和の思い、沖縄の
平和の心を踏みにじる
もので許されません。

沖縄戦の激戦地の1
つ嘉数高台(宜野湾市)
の公園には、京都出身
の犠牲者2530名余
の方々の慰霊のため
「京都の塔」という碑
が建立されています。
そこには「再び戦争の
悲しみが繰り返され
ることのないよう、ま
た併せて沖縄と京都と
を結ぶ文化と友好の絆
がますますかためられ
るようこの塔に切なる
願いをよせるものであ
る」と刻まれています。
まさに、京都選出の議
員である西田氏の発言
は碑文に込められた京
都の遺族の方々の思い
に背くものです。



沖縄で死んだ」(高文
研)を皆さんに一読し
てほしいです。

戦争準備でなく 平和の発信地に

摩文仁の丘(糸満市)
にある「平和の礎」に
は、国籍、軍人や民間
人の区別なく、沖縄戦
の全戦没者名が刻まれ
ています。沖縄県出身
者については、満州事
変(1931年)以降の
戦没者名が刻銘されて
います。それは、追悼
とともに「平和の波」
を永遠に世界に広げ、
沖縄を平和の発信地に
するためです。

沖縄県は戦後50年の
節目に「非核・平和
県宣言」を出し、それ
に先駆けて当時県内全
市町村でも「非核・平
和宣言」が採択されて
います。それにもかか
わらず、戦争の準備と
ばかりにシエルト建設
や本土への避難など動
きが出てきています。

また、実現不可能な辺
野古新基地建設を強行
しています。これは戦
争を美化する西田発言
と一体のものです。

もし、1945年2
月時点で、戦争が終結
していたならば「鉄の
暴風」と言われた米軍
の無差別攻撃も、全国
の都市空爆も、広島や
長崎の原爆の被害も避
けられたのではと想像
します。

イスラエル
のイラン攻撃
に続いてアメ
リカがイラン
の核施設を攻
撃した。国際
法も国連憲章
も無視した、
まさに独裁者の覇権主
義による「ルールなき
戦争」だ。大統領選の公
約であった「戦争を終
わらせるどころか、世
界で戦争を拡大してい
る」トランプ氏は言う
に事欠いて「広島や長
崎の例は使いたくない
が、あの戦争を終わら
せた点で本質的に同じ
だった」と述べた。核
兵器を使用した国の大
統領による正当化発言
は認められない▼石破
首相は、イスラエルの
イラン攻撃に対しては
「日本国として強く非
難する」と言ったが、
アメリカのイラン攻撃
に対しては「確定的な
法的評価は困難」と腰
砕けだ。「法の支配」
はどこにいったのか▼
トランプ政権の軍事に
関する対日要求エスカ
レートも重大だ。米国
が軍事費をGDP比3
・5%(年間21兆円)に
引き上げるよう求めて
いることが明らかにな
ったが、それを隠すた
めにG7での日米首脳
会談を見送ったと報道
されている。アメリカ
言いなり政権「は退場
してもらえない」